

【東京都】ホットマン株式会社 ～SDGsを活用した内部組織力強化と新規協働機会の獲得～

企業概要

URL : <https://hotman.co.jp/hotmansdgs>

- 明治元年創業、製販一貫のビジネスモデルを強みとするタオル製品製造メーカー。薬剤に頼らない、環境と人に配慮した独自製法で商品に圧倒的な吸水性と肌へのやさしさを誇る「1秒タオル」を開発。また、フェアトレードでの原料調達により、国内初となる日本製フェアトレードコットンタオルの製造・販売。
- 自社の取組・経営資源を振り返るツールとしてSDGsを活用し、環境配慮経営を明確化。地域や外部ステークホルダーとの連携、直営店での販売等を通して、「社会課題解決型のものづくり」の普及を推進。

企業情報			
企業名	ホットマン株式会社		
代表者	代表取締役社長 坂本 将之		
設立年	1951年(法人化)	従業員	405人
資本金	8,000万円		
業種	繊維工業		
本社所在地	東京都青梅市長淵5-251		
事業概要	タオル製品全般・バスローブ・リゾートウェア・ベビータオル・ベビー用品・寝具等、その他生活関連繊維製品の製造販売		
電話番号	0428-24-6500		



ホットマン(株)
坂本代表取締役社長

SDGs達成を通じた取組



【経緯・背景等】

- 「タオル製品を通して一人でも多くのお客様の快適で心豊かな生活に貢献する」ことが経営理念。分業型の生産が一般的な国内タオル業界において、日本で唯一すべての製造工程を自社で行える「一貫生産」と自社直営店で販売する「製販一貫」のしきみを構築。人・環境・地域に寄り添うものづくりによる他社と差別化した未来志向の企業経営に取り組む。
- タオルの原材料である綿花の取引において、先進国に有利で不平等な取引を余儀なくされている開発途上国が存在することを知り、この問題を解決してサステナブルな世界を実現する手段の一つであるフェアトレードに賛同して取り組む。



フェアトレード1秒タオル

【具体的な取組、製品・サービス】

- 自社での一貫生産の強みを活かし、セネガル産コットンを使用した国内初の日本製フェアトレードコットンタオル（国際フェアトレード認証取得）を生産。弱い立場にあるコットン生産者の生活を守ると共に、サステナブルな社会の実現に貢献。また、フェアトレードによる原料調達に留まらず、安心・安全で圧倒的な吸水性を誇る「1秒タオル」品質での生産を通じて、商品の付加価値を高める。
- 自社の取組・経営資源を振り返るツールとしてSDGsを活用。これまでに取り組んできた工場排出ゴミの固形燃料化、ボイラー燃料の切り替えによるCO2排出量削減等の「環境対応」や「本業のものづくり」とSDGsとの関係性を整理・見える化し、外部向けのコミュニケーションに役立てている。また従業員向けにも事業とSDGsの関係を説明して理解を深めてもらい、モチベーションアップを図っている。
- 直営店やメディアを通じてフェアトレード、SDGsの発信と普及を行うと共に、地元学校の工場見学、職場体験やインターンシップ、各種取材や講演等も積極的に受け入れ、地域や若年層に対しても啓蒙活動を実施。



フェアトレード認証ラベル

【取り組んだ成果・効果】

- 社会課題解決型の高付加価値製品による企業認知度の向上、SDGsを活用した自社経営の振り返りを通じた内部組織力強化。
- 持続可能な調達に関心の高い企業等との新規取引の増加、新たな協働機会の獲得 等。



フェアトレード推進POP

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- SDGsへの取組姿勢が企業の評価や顧客の購買行動を左右するようになり、企業のブランド価値を向上させ、新規市場開拓に繋がるものになってきています。SDGsへの取組を社会課題の解決だけでなく企業戦略の入り口と捉え、社員の誇りに繋げると共に改めて自社の強みを発揮する機会としていきます。